

質問項目	県・市での調査項目					国 (H24)
	H19 石岡市	H21 茨城県	H23 石岡市	H26 茨城県	H28 石岡市	
I 男女の地位の平等に関する意識について						
○ あなたは、次にあげる8つの分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。	○	○	○	○	○	★
(1) 家庭生活(家事・育児など)	○	○	○	○	○	★
(2) 職場	○	○	○	○	○	★
(3) 学校教育の場	○	○	○	○	○	★
(4) 政治の場	○	○	○	○	○	★
(5) 町内会、自治会などの住民組織	○	○	○	○	○	★
(6) 地域活動	○	○	○	○	○	★
(7) 社会通念、慣習、しきたりなど	○	○	○	○	○	★
(8) 法律や制度	○	○	○	○	○	★
○ では、あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。	○	○	○	○	○	★
○ 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことは何でしょうか。	○	○	○	○	○	
II 男女の生き方や家庭生活などに関する考え、役割分担などについて						
○ 結婚や子どもを持つことについてどう思いますか。				○		
(1) 人は結婚する方がよい				○		
(2) 結婚は個人の自由であるから結婚してもしなくてもよい				○		
(3) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい				○		
(4) 結婚しても、必ず子どもを持つ必要はない				○		
(5) 結婚しないで子どもを持ってもよい				○		
○ 次にあげる男女の生き方や家庭生活などに関する考えについて、あなたの考えをお聞かせください。	○	○	○	○	○	★
(1) 「男(女)だから」という決めつけは、その人の可能性を閉じこめてしまう	○	○	○	○	○	★
(2) 社会の意識やそれに基づく制度・慣行によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない	○	○	○	○	○	★
(3) 仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである	○	○	○	○	○	★
(4) 男性も家事・育児に積極的に参加すべきである	○	○	○	○	○	★
(5) 男性は一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである	○	○	○	○	○	★
(6) 女性は結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	○	○	○	○	○	★
(7) 女性が仕事を持つのはよいが家事、育児もきちんとすべきである	○	○	○	○	○	★
(8) 女性(妻)が仕事を持って、男性(夫)が家事・育児に専念するという選択肢があってもよい	○	○	○	○	○	★
○ 次にあげるような家事等を主に誰が分担していますか。また、家計費の管理等について最終的に決定しているのはどなたですか。	○	○	○	○	○	★
○ 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方をどう思いますか。	○	○	○	○	○	

質問項目	県・市での調査項目					国 (H24)
	H19 石岡市	H21 茨城県	H23 石岡市	H26 茨城県	H28 石岡市	
○ 次にあげるア～エについて、あなたはどれくらい時間をかけていますか。平日、土曜、日曜それぞれの1日あたり平均時間をご記入ください		○	○	○	○	
(1) 家事		○	○	○	○	
(2) 育児		○	○	○	○	
(3) 介護・看護		○	○	○	○	
(4) 買い物		○	○			
Ⅲ結婚観・離婚観や子どもに関する考えについて						
○ 結婚についてどう思いますか	○	○	○			
○ 離婚についての次の考えをどう思いますか。	○	○	○			
○ 近年、少子化が急速に進んでいますが、子どもの出生数のことでお伺いします。						
(1) あなたの理想とする子どもの数は何人ですか	○	○	○	○	○	★
(2) 実際の子どもの数又は実際に子育てできると思う数は何人ですか	○	○	○	○	○	★
(3) 前頁の問9(2)の「実際の子どもの数又は実際に子育てできると思う数」が、同じく問9(1)の「理想の数とする子どもの数」よりも少ないと答えた方にお伺いします。その理由は何ですか。	○	○	○	○	○	★
Ⅳ 教育について						
○ あなたは子どもを教育する場合、「女らしさ、男らしさ」という考え方を意識しますか。		○	○			
○ あなたは、次の(1)～(7)の子どもの教育についてどのようにお考えですか。						
(1) 男らしさ・女らしい遊びを押し付けない		○	○			
(2) 男女の区別なく家事の分担をさせる		○	○			
(3) 小・中学校も出席簿や座席などを男女でわけることをなくす		○	○			
(4) 性別に関係なく能力や個性をいかせるような指導をする		○	○			
(5) 男女の差別的な社会の仕組みや歴史について認識を深める		○	○			
(6) 性についての正しい教育をする		○	○			
(7) 多様な結婚観・家庭観があることを教える		○	○			
○ あなたは男の子と女の子について、それぞれどのように育ててほしいと思いますか。		○	○			
Ⅴ仕事と生活の調査(ワークライフバランス)について						
○ 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の状況について、理想はどうあるべきだと思いますか。また、実際はどうですか。		○	○	○	○	
○ お子さんがいる方に伺います。 (男性へ)実際にあなたの働き方に近いものはどれですか。 (女性へ)あなたの配偶者の働き方に近いものはどれですか。				○		
(1) 仕事を優先				○		
(2) どちらかといえば仕事優先				○		

質問項目	県・市での調査項目					国 (H24)
	H19 石岡市	H21 茨城県	H23 石岡市	H26 茨城県	H28 石岡市	
(3) 仕事と育児を同時に重視				○		
(4) どちらかといえば育児優先				○		
(5) 育児を優先				○		
○ 父親の働き方と子育てについてどう思いますか。子ども・配偶者がいない場合は、いるとしたらどうしたいかをお答えください。 (男性へ)あなたに子どもがいる場合どのような働き方をしたいですか。				○		
○ 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。		○	○	○	○	
VI就業関係について						
○ 就業に関してお伺いします。次のことについてあなたはどう思いますか。	○	○	○	○	○	★
(1) 仕事をこなす能力に対する男女差はあると思いますか。	○	○	○	○	○	★
(2) 男性向き、女性向きの仕事内容はありますか。	○	○	○	○	○	★
職場における男女の地位は平等になっていると思いますか	○	○	○	○	○	★
○ 上記の間で、1か2の「男性の方が優遇」又は4か5の「女性の方が優遇」に回答された方にお伺いします。その具体的な内容はどのようなことですか。	○	○	○	○	○	★
○ 次の仕事へのかかわり方について、あなたはどのようにお考えですか。	○	○	○		○	
(1) 女性は結婚するまでは、仕事を続けた方がよい	○	○	○		○	
(2) 女性は子どもができるまでは、仕事を続けた方がよい	○	○	○		○	
(3) 女性は子どもが生まれても、ずっと仕事を続ける方がよい	○	○	○		○	
(4) 女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい	○	○	○		○	
(5) 女性は仕事を一生持たない方がよい	○	○	○		○	
(6) 男性は家族を支えるため、仕事を中心に生活した方がよい	○	○	○		○	
(7) 男女問わずフルタイムの仕事よりは、自由時間の多いパートの仕事の方がよい	○	○	○		○	
(8) 男女問わず家庭・家族との触れあいが充実することで仕事にも良い影響を与えると思うから、うまくバランスをとりながら生	○	○	○		○	
(9) 男女問わずできることなら仕事よりも家庭・家族との時間を大切にされた方がよい	○	○	○		○	
○ あなたは途中で仕事を辞めた経験がありますか。	○	○	○	○	○	★
○ 上記の間で、1の「ある」と答えた方にお伺いします。仕事を辞めた主な理由は何ですか。	○	○	○	○	○	★
○ 上記の間で、1の「ある」と答えた方にお伺いします。仕事を辞めたあと、再就職しましたか。				○	○	
○ 女性が起業(会社を興したり、お店を開いたりすること)することについてお伺いします。女性がどんどん起業して社会に出ていくべきだと思いますか。	○					
○ 上記の間14で、1の「そう思う」と答えた方にお伺いします。そう思う理由は何かですか。	○					
○ 女性が働き(起業し)やすくするためにはどんなことが必要だと思いますか。	○	○	○		○	
VI地域活動・社会参画について						

質問項目	県・市での調査項目					国 (H24)
	H19 石岡市	H21 茨城県	H23 石岡市	H26 茨城県	H28 石岡市	
<input type="radio"/> あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域活動はしていますか。	<input type="radio"/>	★				
<input type="radio"/> 上記の間で、1の「している」と答えた方にお伺いします。それはどのような活動内容(分野)ですか。	<input type="radio"/>	★				
<input type="radio"/> 仕事に就いている方(この後10頁のF3の間で1から7までに回答された方)にお伺いします。上記の地域活動や家庭での役割等の状況を含め、現在のあなたの生活形態はどのような内容ですか。	<input type="radio"/>					★
<input type="radio"/> 上記で「してない」と答えた方にうかがいます。地域活動をする事についてどう思いますか。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/> 議員や審議会委員など、政策方針決定の場に女性が参画することについて、あなたはどう思いますか。			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
<input type="radio"/> 上記質問で、1～3のいずれかに回答された方に伺います。政策方針の決定の場に女性が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に重要だと思うものを選んでください。			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
VII 女性の権利、ドメスティック・バイオレンス(DV(配偶者・恋人等からの暴力))について						
<input type="radio"/> 女性の権利が尊重されていないと感じる点はどのようなことですか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
<input type="radio"/> 配偶者(元配偶者も含む。)や恋人から暴力(下記19-2のようなこと)を受けた経験はありますか。	<input type="radio"/>	★				
<input type="radio"/> 上記の間で1の「ある」と答えた方にお伺いします。それはどのようなことですか。	<input type="radio"/>	★				
<input type="radio"/> 上記の間で1の「ある」と答えた方にお伺いします。あなたは、配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/> 上記の間で1の「ある」と答えた方に伺います。相談して問題は解決しましたか。				<input type="radio"/>		
<input type="radio"/> 上記の間で「相談しなかった」と答えた方におうかがいます。どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
VIII 男女共同参画社会について						
<input type="radio"/> 次にあげる言葉や施策等の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものすべてに○印をつけてください。	<input type="radio"/>	★				
<input type="radio"/> 男女共同参画社会を実現するためには、市は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。	<input type="radio"/>	★				
<input type="radio"/> 石岡市では、平成18年4月から男女共同参画条例を施行していますが、あなたはこの条例の内容をご存知ですか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
<input type="radio"/> 男女平等や男女共同参画などについて普段感じていること、市へのご意見、ご要望等がございましたら、自由にご記入下さい。	<input type="radio"/>					
<input type="radio"/> 県の男女共同参画を推進する施設「女性プラザ男女共同参画支援室」をご存知ですか。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
<input type="radio"/> あなたは、男女共同参画を推進するための拠点施設に対して、どのような役割を期待していますか。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		